

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成20年10月31日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	地頭急傾斜地崩壊事業	地区名	舞鶴市 地頭		
概算事業費	6億円	事業期間	9ヶ年		
事業概要	もたれ擁壁工 法面工 L=500m				
目指すべき環境像	当該箇所は、一級河川由良川左岸に位置する集落である。土砂移動を軽減することにより由良川への土砂流出を防ぎ、生物の生育環境の保全と、長期的に見た景観の保全を目指す。地域住民の安心・安全を確保すると共に、地域の生活環境の保全に努める。				
関連する公共事業	平成26年度以降、国土交通省が由良川水防災事業を実施予定である。				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO <sub>2</sub> 排出量等)	当該箇所は平成16年台風23号に斜面小崩壊が発生している。また、崩壊発生の際も見られる。このため、斜面崩壊防止工事を実施し、山地斜面を含む現地地形と植生を保全する必要がある。	斜面崩壊に対して、土砂移動の抑止および植生の回復を図るとともに、周辺の自然環境を保全する。施工にあたっては、土砂災害を防止する目的に沿い、極力大きな地形の変更を行わないよう配慮し、地質に応じた工法を検討する。	4	
	地形・地質				○
	物質循環(土砂移動)				○
	野生生物・絶滅危惧種				○
	生態系				○
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	当該箇所は、斜面崩壊防止工事が必要な斜面と保全人家が非常に近接しているため、特に騒音・振動や、土砂掘削時・斜面削孔時における粉じん等の処置について留意する必要がある。また、建設発生材を、極力リサイクル必要がある。	工事実施中は、低騒音・低振動機械を使用することを原則とする。 粉じん対策として、散水する・防塵シートを配置する等、日常生活に支障が無いよう配慮する。 また、建設発生材は、当該工事と調整し再利用に努める。	3	
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動				○
	廃棄物・リサイクル				○
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	当該箇所は、山地・河川に近接し、豊かな自然環境に恵まれた地域である。特に由良川を含む遠景にすぐれ、由良川の周辺環境に負うところが大きいため、これに配慮する必要がある。 また、負担金徴収し、人家裏で工事をするため、住民との協働が不可欠である。	地山の改変を極力減じる工法を検討し、植生回復のための緑化工には郷土種を混合し、速やかな植生回復を図り、土砂流出を含めた、由良川への影響を極力少なくするよう努める。 地域住民との協働については、生活形態の機能復旧・施設の維持管理を含め、地域住民の意見を反映した施設の計画・立案し、工事実施時も綿密に連絡・調整を行う。	3	
	里山の保全				○
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				○
	その他				